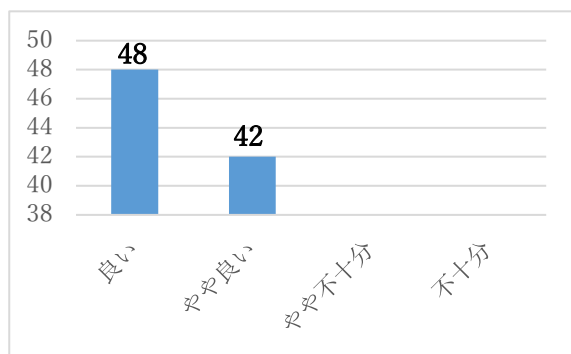
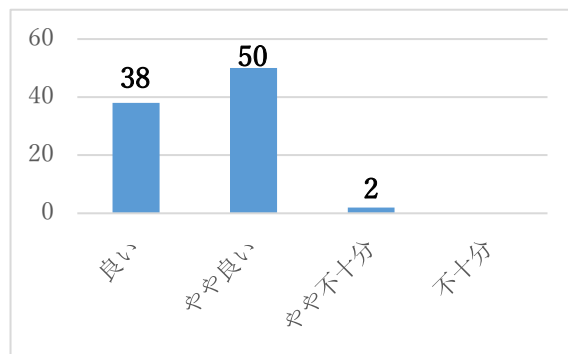


令和6年度学校評価集計【教職員】

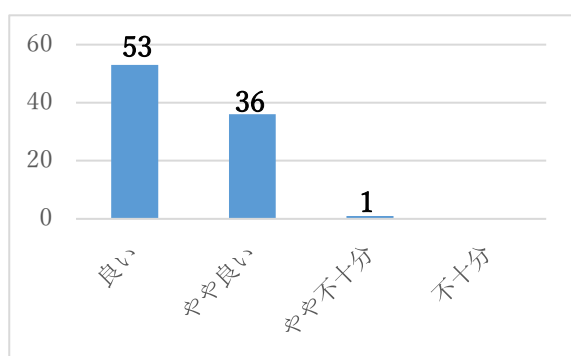
1 【支援や指導に関すること：学校教育目標】



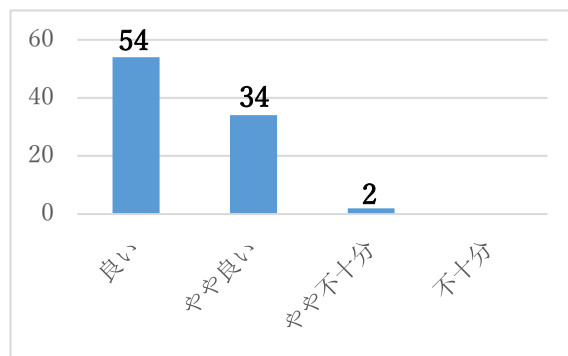
2 【支援や指導に関すること：教育課程】



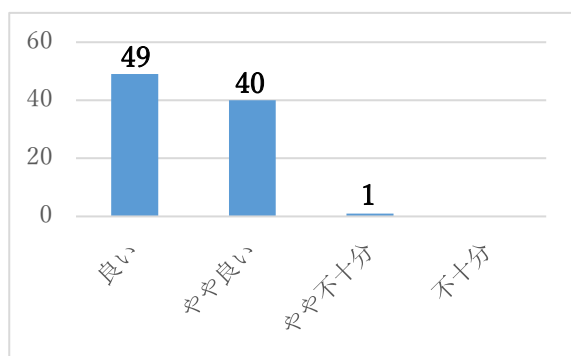
3 【支援や指導に関すること：個別の教育支援計画】



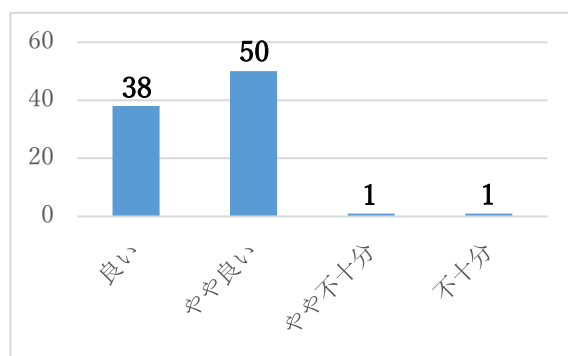
4 【支援や指導に関すること：家庭との連携】



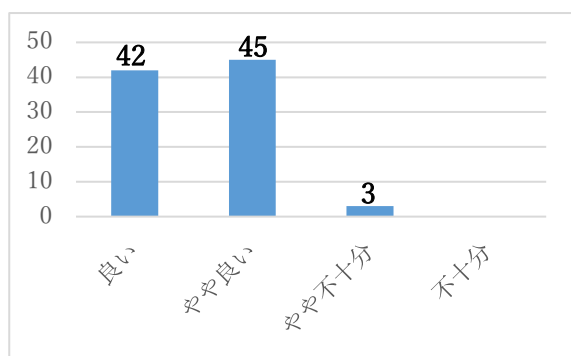
5 【支援や指導に関すること：関係機関との連携】



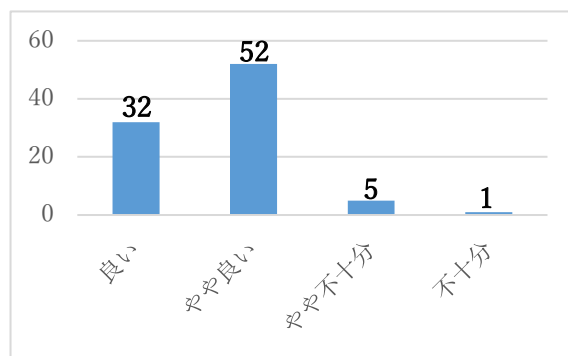
6 【支援や指導に関すること：年間指導計画】



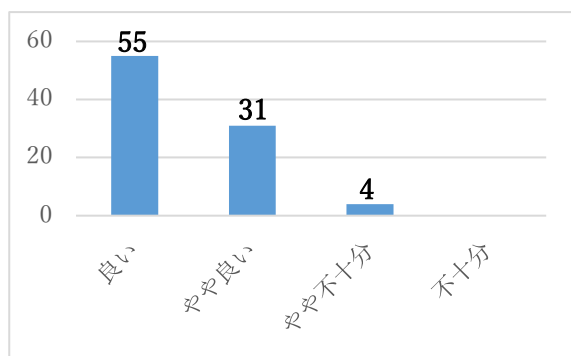
7 【支援や指導に関すること：個別の指導計画】



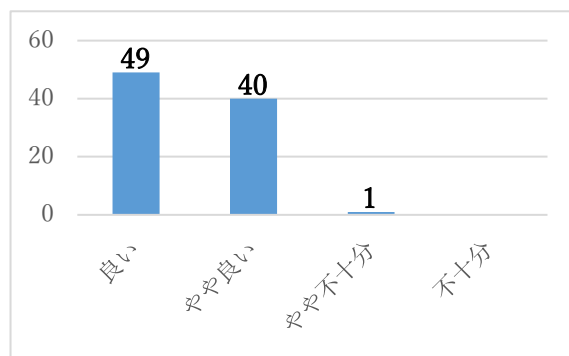
8 【支援や指導に関すること：学習評価】



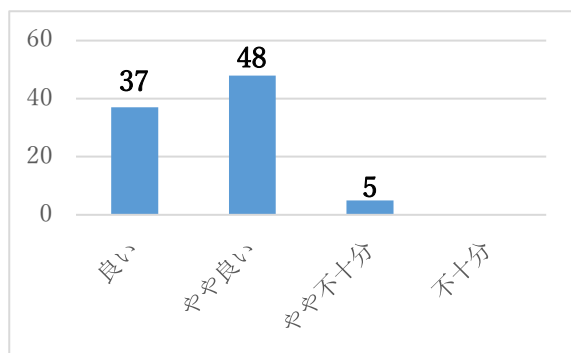
9 【支援や指導に関すること:授業づくり】



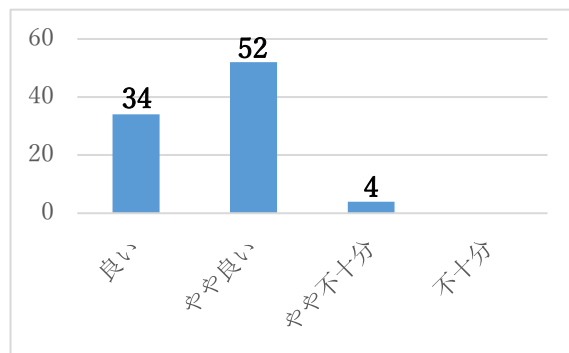
10 【支援や指導に関すること:学習指導(指導力)】



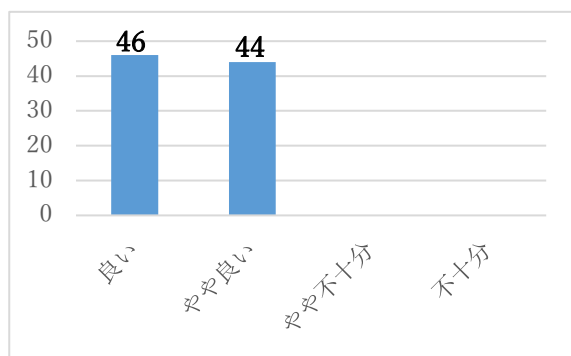
11 【支援や指導に関すること:交流教育及び共同学習】



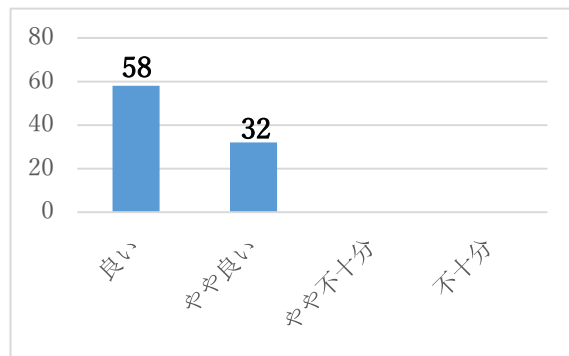
12 【支援や指導に関すること:キャリア教育】



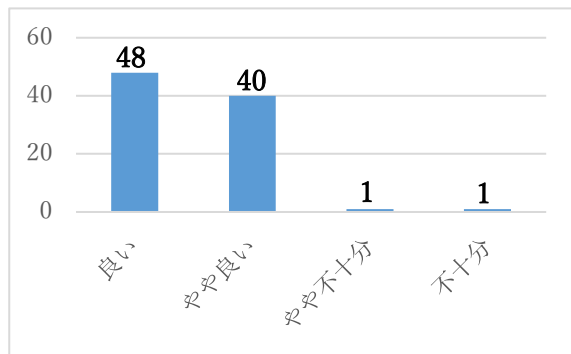
13 【支援や指導に関すること:生徒指導及び人権教育】



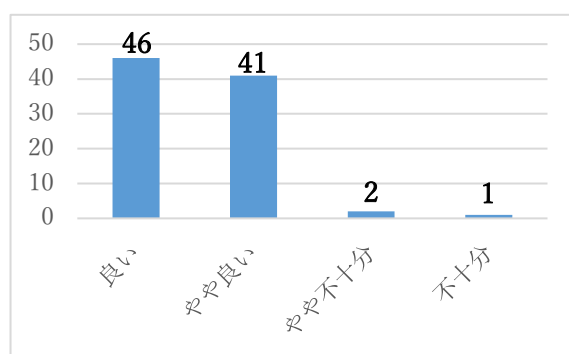
14 【組織や運営に関すること:就学支援及び教育相談】



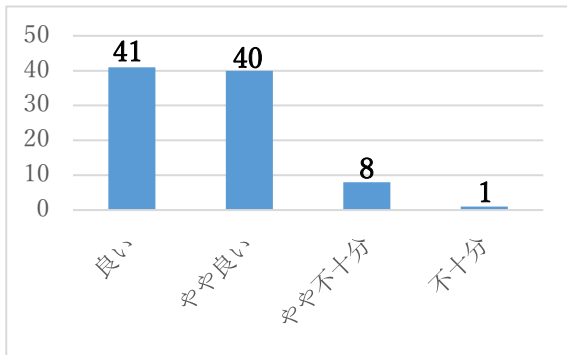
15 【組織や運営に関すること:校内研修】



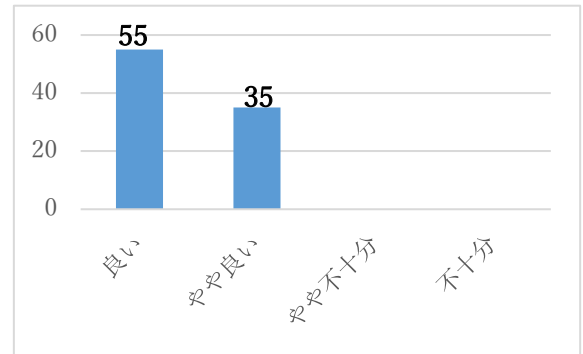
16 【組織や運営に関すること:自立活動】



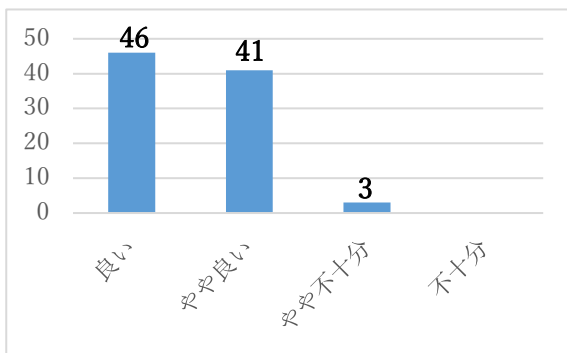
17【組織や運営に関すること:校務分掌】



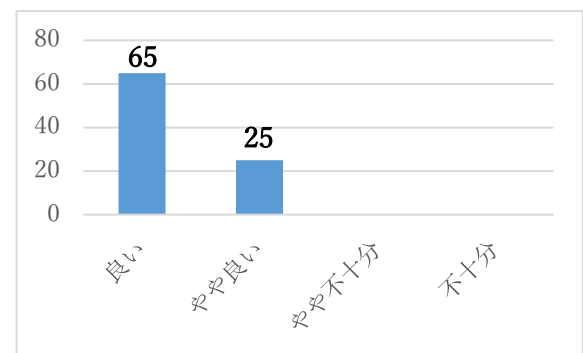
18【組織や運営に関すること:職員会議等】



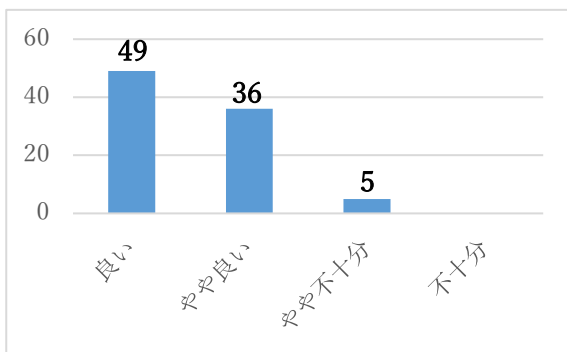
19【組織や運営に関すること:緊急・救急体制】



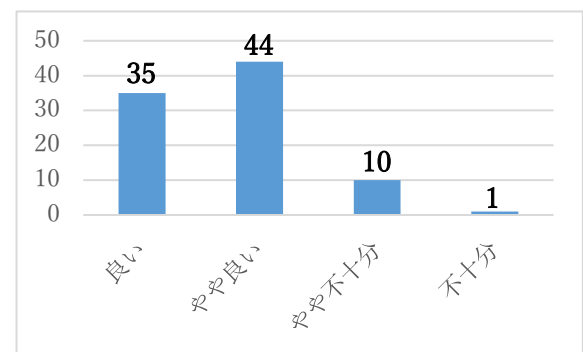
20【組織や運営に関すること:健康・安全・給食】



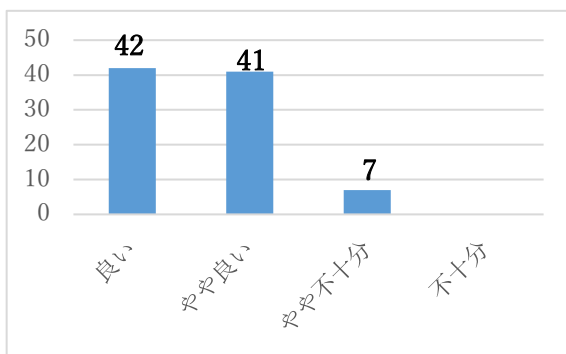
21【組織や運営に関すること:教育環境】



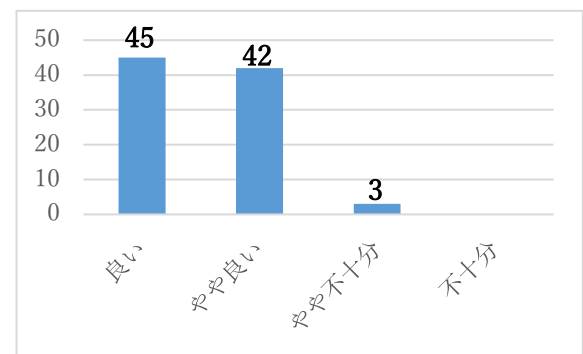
22【組織や運営に関すること:施設・設備】



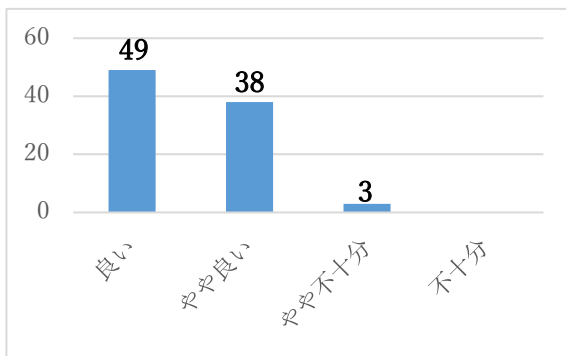
23【組織や運営に関すること:PTA 活動】



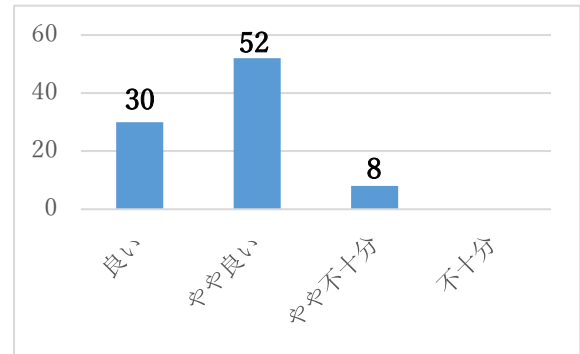
24【組織や運営に関すること:外部への情報発信】



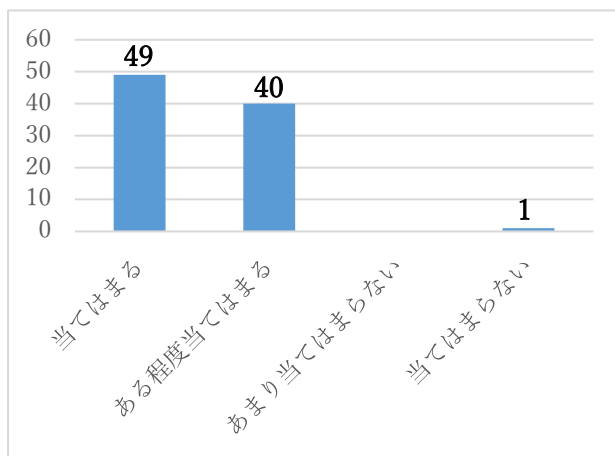
25【組織や運営に関すること:職場環境】



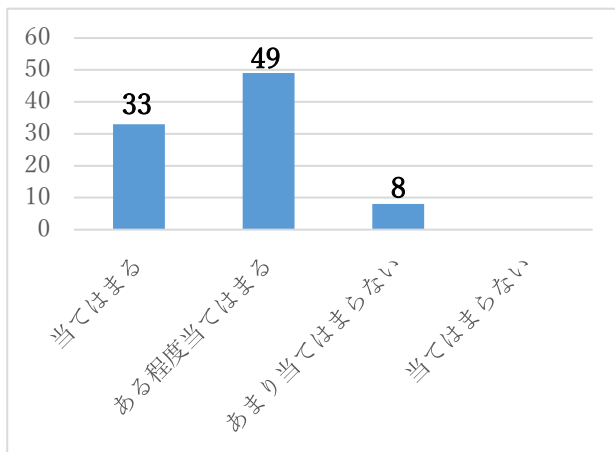
26【組織や運営に関すること:働き方改革】



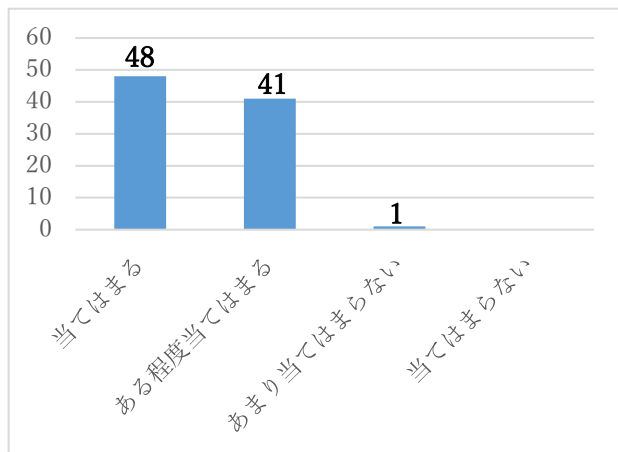
27 3軸6視点に関する5項目(同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。)



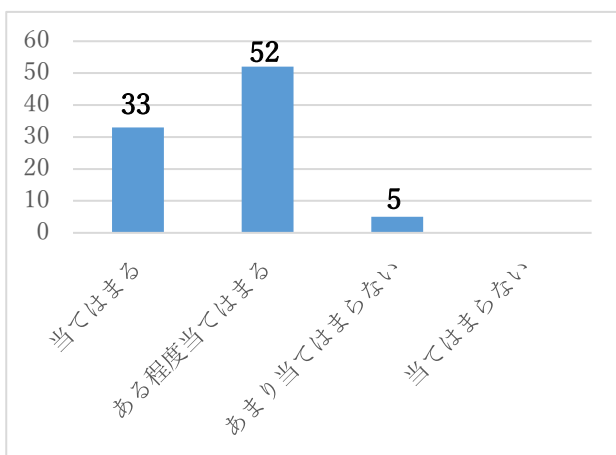
28 3軸6視点に関する5項目(個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。)



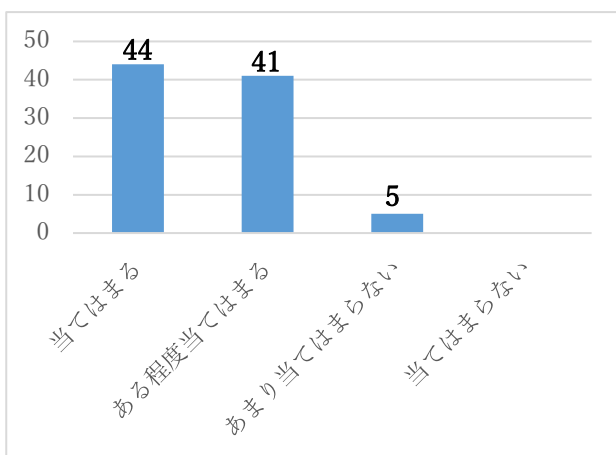
29 3軸6視点に関する5項目（一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができる。）



30 3軸6視点に関する5項目（より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。）



31 3軸6視点に関する5項目（心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができる。）



28 自由記述【一部抜粋】

- (1) 教職員の支えあいができる学校だなと思います。お互いが困っているときに、そっと支えてあげられる教職員の関係性をこれからも大切にしていけるといいなと思います。
- (2) 給食のメニューによって、職員もお箸ではなくスプーンがあった方が食べやすいときがある（丼物など）。小学部エレベーター内にも扇風機がほしい。
- (3) 学部でも相談しやすい環境ですし、コーディネーター、管理者への相談もしやすく感謝しています。訪問

学級でのことで相談することも多いですが、これからもよろしくお願いします。

- (3) 働き方改革が始動して、職員は仕事をこれ以上増やさない意識しているが、特別支援教育の専門性は保持しながら、業務の何を省けば良いのか悩ましい現状がある。今年度も、校務分掌において小中高の係で話し合い業務を見直してはみたが、教職員の専門性維持や向上の為、児童生徒の為には今後も継続が望ましい研修などがいくつかあった。また、情報化が進み、新しい教材導入にも取り組んでいかないと児童生徒に還元できない現状があり仕事を減らすのは難しいそうである。自宅に仕事を持ち込んだり、他の職員に相談し助言を頂きたくても皆忙しそうにしているので、挨拶程度にしか話す時間が取れない状況がある。学校の様々な行事や仕事内容を皆で大きく見直す、また、毎週の分担区域の清掃、児童用のトイレの清掃、全体清掃などは教員以外の職員ができるようにしていくなどすると、教員は教材研究や教育システムへの入力作業、学年便りなどの資料作成、校務分掌作業、専門性を高める資料の検索や他の職員との情報交換、情報共有、保護者とのやり取りなどに時間に今よりゆとりをもって当てることができと思う。
- (5) 管理職・部主事の先生方が毎日のように子どもの様子を見に来てくれるので、子どもたちが喜んでいきます。このことが、子どもの実態について報告・連絡・相談がしやすい風土づくりにつながっていると感じます。今後ともよろしくお願いいたします。

【結果と考察】

- 1 評価対象は、教職員90名のうち回答は90名であり、回答率100%となっている。昨年度は「良い、やや良い」の8割が評価された項目を「良好な評価」として捉えたが、今年はさらによりよく学校を変えていくために、90名を100%と考えた際に「良い、やや良い(当てはまる、ある程度当てはまる)」の9割が評価された項目を「良好な評価」とした。
- 2 全31項目中(3軸6視点の項目も含む)、29項目において、良好な評価(良い、やや良い(当てはまる、ある程度当てはまる))が82名以上であった。
- 3 全31項目中(3軸6視点の項目を含む)、2項目については、改善が必要な評価(不十分、やや不十分(あまり当てはまらない、当てはまらない))が9名以上であった。
 - (1) 項目17の「校務分掌」については、仕事量のバランスや引継ぎなど、働き方改革も含め、業務の効率化や負担軽減が課題となっている。今すぐに、できること、できないことの整理を行うとともに、教員業務支援員の配置や行事の精選も含め改善策を検討していきたい。
 - (2) 項目22の「施設・設備」については、校舎(小学部棟)やプールの老朽化、空調設備等の課題があり、計画的に課題の改善を図る必要がある。施設・設備の修繕や改修に向け今後も県へ要望を訴えていく。
- 4 自由記述においては、様々な意見が寄せられている。学校として取り組む課題や県へ働きかける課題、学部や校務分掌で取り組む課題等に分けて検討し、年度内に取り組める課題については対応し改善していきたい。